

一般質問

市政全般にわたり15人の議員が質問しました。

女性視点の

防災対策について!

伊藤 多華 議員《公明党》

私たち市民は、大災害から多くの事を学び、いつ起こるか分からない大災害におびえるだけでなく、自助・共助・公助の取り組みの強化を進め、災害に立ち向かう備えをすることが必要と考えます。本市の取り組みとして、男女共同参画の視点を踏まえ、平時から準備できるようにするとありますが、防災会議の女性委員について、各避難所の女性委員の割合、避難所開設担当者の男女の配置について、内閣府の避難所・備蓄チェックシートの活用について、女性視点の防災ハンドブックの作成について伺います。

市長 座間市防災会議の委員には女性が2名おり、女性の視点、立場を直接反映できるようにしています。また、平成26年度から避難所運営委員会を設置を進めており、積極的に女性の参加を求め、3割程度が女性委員で構成されています。避難所開設担当者には、職員を4名ずつ任命していますが、女性への配慮、相談窓口として、1名は必ず女性職員を配置しています。

市長室長 チェックシートの活用は、今後導入を図っていきます。現在、女性向けハンドブックの作成予定はありませんが、防災対策総合ガイド更新の際には、女性向けの情報を充実させていきます。

所有者不明の私道 同意要件の明確化について

安田 早苗 議員《公明党》

複数の地権者が所有する私道は、補修工事などを行う場合、所有者全員の同意を得る運用がされていますが、地権者の中には倒産し実態がない会社や全国に点在し追跡不可能なケースが多々あり、所有者の把握が困難な事案では補修工事に支障が生じています。民法では、共有私道の補修

工事を行う場合、形状変更は所有者全員、改良は過半数、現状維持は単独の同意でも可能としています。これらの線引きは曖昧なため、本市を含む多くの自治体は所有者全員の同意を求めています。そこで法務省は、一部所有者不明の共有私道について、補修工事などが円滑にできるよう

同意要件を明確化し、年内にガイドラインを策定すると発表しました。実質の要件緩和につながるものと期待しますが、本市としてどのように対応するのか、また、公道に移管ができなくても整備は可能という認識でよいのか見解を伺います。

自転車ネットワーク計画策定の 進捗状況と構想を問う

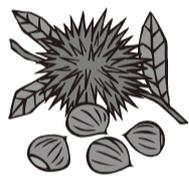
沖本 浩二 議員《さま大志会》

本市では、自転車は車両であり車道通行が原則という観点に基づき、国土交通省が策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の通り、平成28年度より、自転車通行空間として重要な路線を対象とした面的な自転車ネットワーク計画の策定に努めています。計画策定の見込みと現在までの進捗状況を伺います。また、市道13号線沿いの仲よし小道の整備内容として自転車道の設置が報告されていますが、その構想や今後の計画について伺います。

都市部長 自転車ネットワーク計画の策定の見込みとしては平成29年度末を予定しており、現在の進捗状況は自転車ネットワーク計画づくりの検討会の設立準備を進めると

都市部長 ガイドラインの対応ですが、内容を考察し、座間市私道整備等に関する要綱を、本市の実情と合わせ、ガイドラインに沿った見直しなどの検討を行ってまいります。また、私道の状態での整備が可能になるものと現時点では捉えています。

ともに、委託業務の執行手続を進めています。また、市道13号線沿いの仲よし小道については、仲よし小道再生整備基本構想に基づき、平成28年度に開催したワークショップで自転車通行が重視されたことを反映させ、自転車を通行させる部分を車道側に配置する構造とし、自転車ネットワーク計画に適用可能としています。今後は、平成30年度から社会資本整備総合交付金等を活用し、整備に着手していきたいと考えています。



公共施設の使用料見直し 市民の声をどう捉えているのか

沖永 明久 議員《会派に属さない議員》

本年5月、「公共施設の使用料設定に当たつての基本方針」が改訂されました。その中では「受益者負担の原則による使用料等の適正化」がうたわれ、「減額・免除規定の見

直し」などが示されていますが、改訂前のパブリックコメントでは、史上最多の641件の意見が寄せられ、そのほとんどが反対の声でした。そこで、旧基本方針に基づ

いて使用料を設定した公共施設はあったのか。地方自治法には「使用料を徴収することができる」という規定はあるが「受益者負担」は明記されていない。「受益者負担の原則」が定められた法令はあるのか。使用料の算定方法が示されているが、各公共施設の使用料はどのくらいになるのか、試算したのか、説明を求めます。また、パブリックコメントに示された市民の声を

相武台前駅周辺の 環境整備について

松橋 淳郎 議員《さま明進会》

小田急線相武台前駅は、本市の鉄道の玄関口として多くの方々が駅の交通機関を利用しています。1日の電車の停車数は254本で、北口バスターミナルは、市内外を含め11路線あり、1日に318台ものバスが発着するハブ機能を持つ交通拠点で、タクシーや施設のマイクロバスのほか、通勤通学の送迎をする車

どう捉えているのか伺います。**企画財政部長** 旧基本方針に基づいて使用料の設定を行った施設はありません。公共施設の使用料設定に当たり、受益者負担の原則を定めた法令はないと理解しています。使用料の試算については、お示しする段階には至っていません。市民の皆様からの声は、参考にさせていただいた上で、今後所管課で具体的な検討を進めていくと理解しています。

の環境整備についての当局の所見を伺います。**都市部長** 相武台前駅周辺については、座間市都市マスタープランでは、将来都市構造における市民生活を支え、都市のにぎわいを創出する地域拠点と位置づけ、全体構想では、拠点商業地として都市機能や交通結節機能の強化により、地域拠点にふさわしい、快適で利便性の高い市街地形成を目指しています。座間市都市マスタープランの施策に基づき、上位計画や地域の課題、将来にわたる駅周辺利用者の状況等の整理を行い、具体的な整備内容、整備時期等について検討していきます。

保育コンシェルジュの 機能充実を

加藤 陽子 議員《会派に属さない議員》

子ども・子育て支援新制度の利用者支援事業である、保育コンシェルジュが2016年度から保育課に配置されました。特に待機児童の解消を図るため、窓口を中心に利用

者支援を行うことを目的にしたものです。就労する方が増え、働き方も多様化していることから、その方に合った支援が重要であり、保育コンシェルジュ

本会議の概要

- ▽8月31日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・諮問上程・提案説明
- ▽9月1日 総括質疑・委員会付託、報告上程・質疑
- ▽9月8日 一般質問
- ▽9月11日 一般質問
- ▽9月12日 一般質問、委員会審査報告・質疑・討論・採決
- ▽9月29日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、報告上程・質疑、議員提出議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論)省略・採決、副議長の選挙、常任委員会委員・議会議務委員会委員の選任、高座清掃施設組合議会議員・広域大和畜場組合議会議員の選挙、議員提出議案上程・提案説明(質疑・委員会付託・討論)省略・採決、特別委員会委員の選任、議員派遣、閉会
- なお、質疑、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。**議案第50号に対する質疑(8月31日)**
- 沖永明久(会派に属さない議員)